

# 第5次小菅村総合計画

## [概要版]

※原稿※  
(実際はデザインが入ります)

令和4年3月  
小菅村

## みんなでつくるこれからの小菅村

これからの小菅村（以下、「本村」という。）をよりよくしていくための新たな総合計画「第5次小菅村総合計画」（以下、「本計画」という。）を策定いたしました。本計画は、さまざまな分野の方からご意見をいただきながら、村民のみなさんとともに作りあげた計画です。

村民のみなさんと本村のむらづくりについて考えていくなかで、村内の人だけでのむらづくりには限界があり、本村の特性やむらづくりへの想いに共感いただいたみなさんと“**みんなで一緒に源流のむらをつくっていきたい**”という共通の想いが生まれました。「源流」の持つ価値と役割を、多摩川流域をはじめとした村外の方々に発信することで共有し、共存共栄していきたいと考えています。

将来目指すべきむらの姿をしっかりとイメージした上で、持続可能で自立したむらをつくるため、一緒に計画を進めていきましょう。



**KOSUGE VILLAGE**  
源流のむらづくり  
への想い

多摩川最初の一滴

**“みんなで一緒に源流のむらをつくっていきたい”**

そのために、本村内外すべての方に（できれば世界中の方に！）  
本村の特性やむらづくりへの想いが少しでも伝わるように本計画は策定しました。

## みんなでつくった総合計画

本計画策定にあたって、村民のみなさんと一緒に本村の10年後のあるべき姿「将来像」を描き、共有し、その実現に向けてみんなで一緒に取り組んでいく総合計画にしたいと考えました。

そこで、本計画策定に向けてさまざまな取組を行ってきました。村民を対象にした「新たな小菅村総合計画策定のためのむらづくりアンケート」の実施や、区長・むらづくり関係団体・事業者・行政の職員へのヒアリング、村議会議員・村長へのインタビューを実施しました。また、楽しく本村やむらづくりについて考え話し合う「むらづくりワークショップ」を開催しました。

これらの取組において、村民のみなさんからいただいた意見などをもとに計画案を作成し、小菅村総合計画審議会ですらに議論を深めていきました。その後、整理した内容を、パブリックコメント（意見公募）を実施した上で、本計画を「みんな」で作りあげました。



## 総合計画とむらづくり



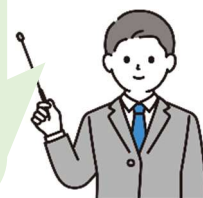
そもそも「総合計画」ってなに？

「総合計画」は、これからの10年間、本村をどんな「むら」にしていくのか、そのために誰がどんなことをしていくのかという進むべき方向を示した、むらづくりの「道しるべ」です。



わたしたちも「むらづくり」には参加するの？

これからのむらづくりは、「みなさんの力」がカギを握っています。村民のみなさんはもちろん、村のためにいろいろな活動をしている団体や企業、多摩川源流をはじめとした村外の方々など、「みんな」で一緒にむらづくりをしていきたいと思っています。



## 総合計画策定の基本的な考え方



むらづくりの具体的な計画や取組の土台となる本計画をもとに、みんなでいろいろな取組を計画、実行しましょう。

現在、本村では、過疎高齢化や自然災害などの課題解決に向けたドローン配送の実証実験をはじめ、気候変動の抑制に貢献する間伐材を用いた薪ボイラーの導入（CO<sub>2</sub>排出に該当しない再生可能エネルギー、太陽光発電・蓄電池もあわせて導入）など、将来に向けた取組を進めています。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済情勢や財政状況には、先行きが不透明な面もあります。

このような状況にあっても、持続可能で自立したむらをつくるため、本村の将来をしっかりとみすえた上で、本当に必要な施策を重点的に推進していきます。



村内で実験運用中のドローン

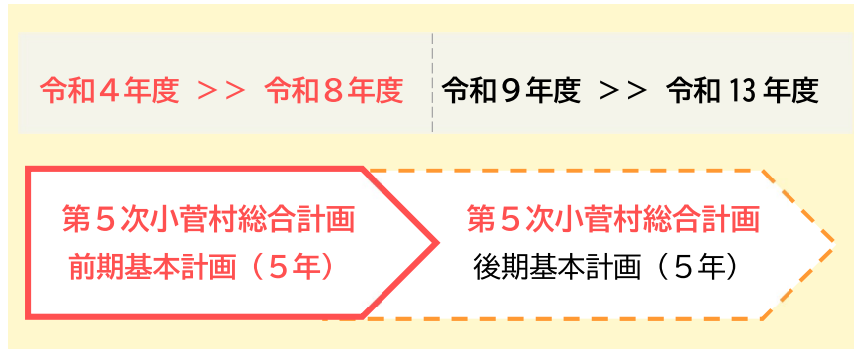


新たに導入した小菅の湯薪ボイラー



## 実効性を重視した前期 5 年間の計画です！

本村の 10 年後（令和 13 年）をイメージした上で、急速に変化する時代に対応し、実効性を重視する観点から、前期基本計画の計画期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間とします。



## 村内外のみなさんとともに進めます！

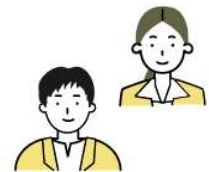
本計画は、幅広い分野の委員で構成する「第 5 次小菅村総合計画審議会」のご意見をいただき策定しています。また、村民やむらづくり関係団体、事業者、小菅村ファンのみなさんと一体となって、国や県、多摩川流域をはじめとした他自治体ともしっかりと連携しながら、スピード感をもって着実に推進していきます。



村民・団体・事業者  
小菅村ファンのみなさん



小菅村



国・県  
他自治体



## SDGs の理念に沿って推進します！

SDGs（持続可能な開発目標）の理念に沿って持続可能なむらづくりを進めるため、本計画に掲げる施策の分野ごとに、SDGs のどの目標に関連しているかを明示し、村民のみなさんと共有します。（詳しくは p. 8～）

<将来像>

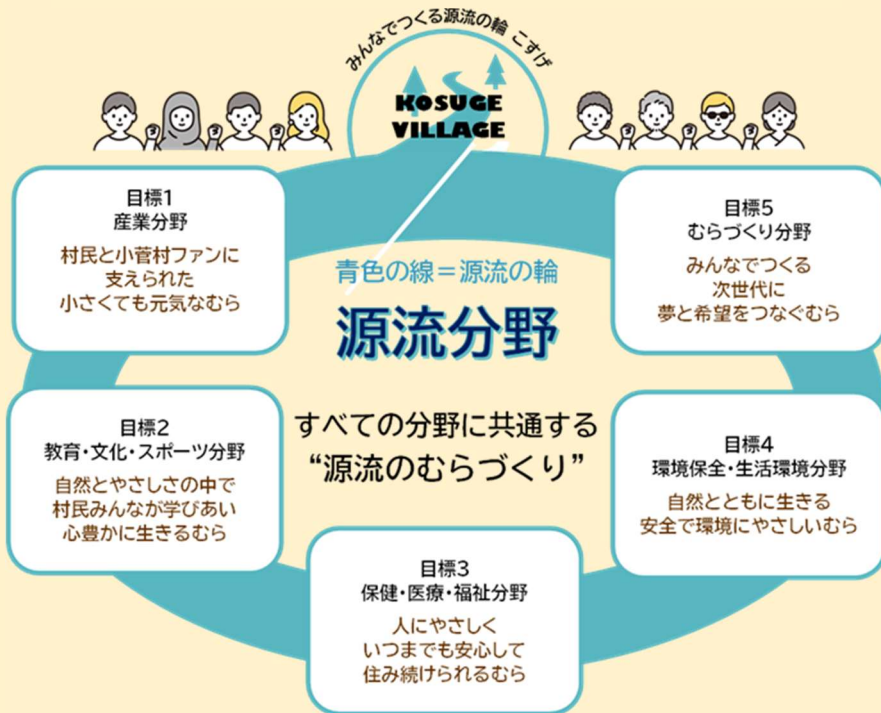
# みんなで作る源流の輪 こすげ

<令和13年の目標人口>

約**680**人※

※「まち・ひと・しごと小菅村地方創生総合戦略(令和2年3月策定)にもとづき設定

<令和13年に目指すむらの分野別目標>



<重点プロジェクトの推進>

前期5年で  
特にがんばること!



こすげをもっと  
好きになる  
むらづくり

UIJ ターン先  
として選ばれる  
むらづくり

住みつづけたい  
と思う  
むらづくり

<分野別施策の推進>

<全分野共通>  
源流の  
むらづくり

産業

スポーツ  
教育・文化

福祉  
保健・医療

生活環境  
環境保全

むらづくり

←→  
整合性

各分野の  
関連計画

# 10 年後（令和 13 年）のイメージ

## 1 産業分野：村民と小菅村ファンに支えられた 小さくても元気なむら

村民がつくった小菅村の農林水産物が全国で愛されています。



むらの魅力が世間に知れ渡り「小菅村のために」という小菅村ファンが増えています。



魅力あるお店と買い物する人で、むらににぎわいがあふれています。

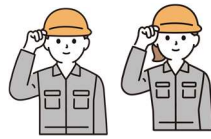


豊かな自然に着目した体験観光の推進など

村内に日常生活に必要な買い物ができるお店があります。



地域に根ざした企業が活気にあふれています。



希望するすべての人が働けるむらになっています。



商工振興事業に対する補助を活用した地元企業の活性化など



在宅医療や ICT を活用した医療体制（オンライン診療）など

## 3 保健・医療・福祉分野：人にやさしく いつまでも安心して

安心して医療が受けられる制度が整っており、村民が健康づくりに取り組んでいます。



地域の支えで、子育てしやすいむらになっています。



子どもの預かり場の増加など

## 2 教育・文化・スポーツ分野：自然とやさしさの中で村民みんなが学びあい 心豊かに生きるむら

むら独自の教育（自然体験活動など）が、心豊かな子どもを育てています。



ICT 教育の実施など



地域の支えと安心できる環境で、子どもが健やかに育っています。



豊かな森林を身近に感じる生活、森林資源を活用した教育が行われています。



伝統の技を担う人材の育成・確保など

子どもから高齢者まで誰もが自由に学べ、交流する場が生まれています。



誰もが自分の能力を活かせるむらになっています。



歴史や芸術、スポーツに親しむ人が増えています。



私もあなたも将来の小菅村をつくっていく一人だよ。  
みんなで力をあわせてむらづくりに取り組もうね。



## 4 環境保全・生活環境分野：自然とともに生きる 安全で環境にやさしいむら

「多摩川源流」をはじめとする豊かな自然が保たれています。



アジサイなど  
花木の植栽



ゴミが減り、エネルギーの地産地消に取り組んでいます。



安全、安心な水が安定して供給されています。



交通環境が整備され、人が移動しやすく交流できる、元気なむらになっています。



村民タクシーなど

ドローン配送など



買い物が困難な方など誰一人として取り残さないやさしいむらづくりが行われています。



ともに助け合える、防災意識の高いむらになっています。



防犯、交通安全意識の高いむらになっています。



## 住み続けられるむら

多くの高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしをおくっています。



みんなが助け合い、誰もが生活しやすい環境になっています。



ひとり暮らし高齢者などの緊急時の通信・連絡体制の整備、高齢者生活福祉センターの利活用の支援など



## 5 むらづくり分野：みんなで作る 次世代に夢と希望をつなぐむら

村民、団体、企業、行政などが支え合い、次世代につなげられるむらをつくっています。



年齢や立場に関係なく、村民の個性が活かせる地域コミュニティができています。



つどいの場の利用など

むらの情報がいつでもわかり、自分の声が村政に届きます。



むらの魅力が広く発信され、交流の輪が広がっています。



多摩川源流大学の充実、1/2 村民カード発行数の増加など

誰もが ICT※を活用できるむらになっています。



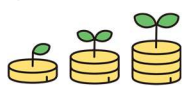
村民と課題の解決に取り組み、村民も積極的に参加する行政組織となっています。



むらが保有する資産を、将来にわたり、有効に管理・運営する仕組みになっています。



税金など、むらに入るお金が有効に活用され、健全で持続可能な財政運営が行われています。



※ICT／「Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）」の略称で、日本語では「情報通信技術」と訳される。身近な例では、スマートフォンでのやり取り、メール、ネット通販などが該当する。

# 9つの重点プロジェクト

本計画では、人口減少や少子超高齢化のなかでも、本村ならではの持続可能なむらづくりを進めるため、59の施策を進めていきます。

そのなかで、3つの視点から、前期5年間で特に“みんなで”重点的・優先的に取り組むべき施策を「重点プロジェクト」として位置づけます。

将来像の実現と分野別目標の達成に向け、基本計画の施策体系を越えて、横断的、一体的、集中的に進めていきます。

## 視点1

### こすげをもっと好きになるむらづくり

#### プロジェクト 01

村民とむらの接点をつくろう！  
交流促進プロジェクト



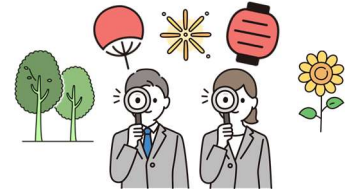
#### プロジェクト 02

むらづくりはまず知ることから！  
情報共有プロジェクト



#### プロジェクト 03

こすげのここが好き！  
魅力発見プロジェクト



## 視点2

### UIJ ターン\*先として選ばれるむらづくり

#### プロジェクト 04

「働きたい人が働けるむら」を  
当たり前！  
働きたい人応援プロジェクト



#### プロジェクト 05

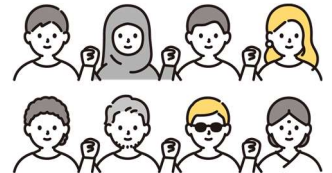
すまいるつながる！  
住まいづくりプロジェクト



最重要

#### プロジェクト 06

こすげのタカラ×村民のチカラ！  
小菅村ファン拡大プロジェクト



## 視点3

### 住みつづけたいと思うむらづくり

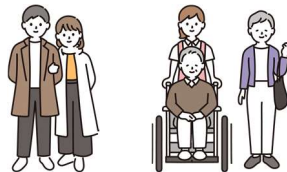
#### プロジェクト 07

こすげで子どもを育てたい！  
子育て支援プロジェクト



#### プロジェクト 08

いつまでも安心してらせる！  
心の孤立ゼロプロジェクト



#### プロジェクト 09

地域でつくる！  
安全なむらプロジェクト



※UIJ ターン/U ターンは地方から進学や就職などで都市に移住した人が、再び生まれ育った地域に戻ることに。I ターンは都市部に生まれ育った人が、地方に移住すること。J ターンは進学や就職で地方から都市に移住した後、生まれ育った地域に近い地方都市に移住すること。





















## 分野別施策

基本構想で掲げる将来像や分野別目標のもと、中・長期的に推進する各分野の施策などについて、方針や主な取組などを総合的かつ体系的に示します。

### SDGsの推進

SDGs(エスディーゼズ)とは、平成27年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことで、2030年を目標年度とした、「誰一人として取り残さない」持続可能な世界を実現するための [17のゴールと細分化された169のターゲット](#) で構成された、日本を含めた世界共通の目標です。

本計画における、むらの将来像「みんなで作る源流の輪 こすげ」の実現に向けた、村民と行政が一体となった取組は、SDGs 達成に向けた取組と、スケールは異なるものの、その目指すべき方向性は同様であることから、本計画の推進を図ることで、SDGs の目標達成に貢献できるものと考えます。

SDGsの17のゴール							
	貧困をなくそう		安全な水とトイレを世界中に		住み続けられるまちづくりを		平和と公正をすべての人に
	飢餓をゼロに		エネルギーをみんなにそしてクリーンに		つくる責任つかう責任		パートナーシップで目標を達成しよう
	すべての人に健康と福祉を		働きがいも経済成長も		気候変動に具体的な対策を		SDGsロゴマーク
	質の高い教育をみんなに		産業と技術革新の基盤をつくろう		海の豊かさを守ろう		
	ジェンダー平等を実現しよう		人や国の不平等をなくそう		陸の豊かさも守ろう		

### (1)産業分野

### 村民と小菅村ファンに支えられた 小さくても元気なむら

施策方針	施策
1-1 農業・水産業の振興	生産基盤の整備／担い手の確保・育成／特色ある農業・水産業の振興
1-2 森林業の振興	森林施業の基盤整備／森林・地域材の活用
1-3 観光業・商工業の振興	観光業の振興／地元企業の活性化／新たな地域企業づくり
1-4 雇用環境の整備	就業の安定と就業条件の向上／新たな就業の場づくり

#### ■関連する SDGs



#### ■関連計画

- ・小菅村森林整備計画
- ・創業支援等事業計画
- ・小菅村地域公共交通リバイバルプラン

## (2)教育・文化・スポーツ分野

自然とやさしさの中で村民みんなが学びあい  
心豊かに生きるむら

施策方針		施策
2-1	教育の充実	義務教育の充実／健康の増進と心の教育／進学・就学の支援／ 幼児教育の推進
2-2	生涯学習の推進	生涯学習推進体制の整備／生涯学習内容の充実
2-3	人権尊重社会の実現	男女共同参画に向けた意識改革と条件整備／青少年の健全育成
2-4	歴史・文化の継承と活用	祭りや伝統、文化財の継承と活用／文化・芸術活動への支援
2-5	スポーツの推進	スポーツ・レクリエーション活動の充実

### ■関連する SDGs



### ■関連計画

- ・生涯学習推進計画
- ・小菅村共生プラン

## (3)保健・医療・福祉分野

人にやさしく いつまでも安心して住み続けられるむら

施策方針		施策
3-1	保健・医療サービスの整備	健康づくりの推進／感染症対策の基盤整備／疾病・介護予防の推 進／医療体制の維持
3-2	地域福祉の推進	地域福祉を支えるひとづくり／地域福祉を推進するための環境づ くり
3-3	子育て環境の整備	保育サービスの整備／地域子育て環境の整備
3-4	高齢者福祉の推進	社会福祉協議会の活動支援(高齢者対象)／生涯現役社会の実現
3-5	障がい者福祉の推進	社会福祉協議会の活動支援(障がい者対象)／地域生活の支援

### ■関連する SDGs



### ■関連計画

- ・KOSUGE 健康プラン 21
- ・特定健診等実施計画
- ・小菅村国民健康保険データヘルス計画
- ・介護保険事業計画
- ・小菅村地域福祉計画
- ・小菅人による次世代小菅人づくり計画
- ・小菅村高齢者福祉計画

## (4)環境保全・生活環境分野

## 自然とともに生きる 安全で環境にやさしいむら

施策方針		施策
4-1	環境の保全	環境保全の推進／地域新エネルギーの活用
4-2	循環型社会の形成	ごみの減量化・再利用・再生利用の促進／廃棄物の適正処理の推進
4-3	水道の維持・管理	簡易水道の維持・管理／下水道の維持・管理
4-4	道路・交通網の整備	生活道路の整備／持続可能な公共交通の構築
4-5	住宅・住環境の整備	空き家の利活用／若者の定住環境の整備／良質な住宅・住環境の整備
4-6	生活基盤の整備	河川、橋りょうの整備／公園・広場・緑地の整備・活用／地域情報化の推進
4-7	地域安全の確保	地域防災力の向上／消防・救急・防災体制の充実強化／暮らしの安全確保(交通安全、防犯対策、消費者安全)

### ■関連する SDGs



### ■関連計画

- ・小菅村源流景観条例
- ・一般廃棄物処理基本計画
- ・経営健全化計画
- ・公共住宅長寿命化計画
- ・橋梁長寿命化計画
- ・小菅村国土強靱化地域計画
- ・小菅村源流景観計画
- ・災害廃棄物処理計画
- ・小菅村地域公共交通リバイバルプラン
- ・小菅村空き家等対策計画
- ・小菅村地域防災計画

## (5)むらづくり分野

## みんなでつくる 次世代に夢と希望をつなぐむら

施策方針		施策
5-1	自主的・主体的な村民活動の促進	住民参画の仕組みづくり／村民活動の促進／区会など地域活動の支援
5-2	多様な交流の促進	小菅村ファンとの交流の推進／UIJターンの促進・支援
5-3	効率的・効果的な自治体の運営	行政のデジタル化の推進／人材育成・組織力の向上／健全な財政運営の推進／広域連携の推進

### ■関連する SDGs



### ■関連計画

- ・行政改革大綱及び集中改革プラン
- ・小菅村定員適正化計画



多 摩 源 流  
小 菅 村

Kosuge Village

## 第 5 次小菅村総合計画(概要版)

令和4年3月発行

編集・発行 / 山梨県 小菅村

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4698 番地

TEL:0428-87-0111

<http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/>